

## 編集後記

今月号は「防災、安全・安心を確保する社会基盤整備」特集号です。

巻頭言では、中央大学理工学部谷下教授にお願いしました。

東日本大震災の被害により、かつて暮らした土地に住民が戻って生活するには何が必要かを都市環境の観点から説明しています。

行政情報では、災害の多い日本が培った防災技術を海外へ展開する試みとして、産学官一体の「防災プラットフォーム」を紹介しています。

もう1件の行政情報は、海岸法の一部改正を行うことにより、緑の樹林による防波堤としての効果を行政として取り組み、強化することを取りあげています。

特集報文は、防災監視システム、防災・減災への取り組み、防災関連インフラ施工事例、防災要素技術の4部構成となっています。

防災監視システムでは、地震、津波の観測機器の保守技術や地震の震度から被害を推定するシステム、気象庁の降雨データからゲリラ豪雨の発生を予知するシステムを紹介しています。

防災減災への取り組みとして、地下施設への浸水防止対策やOSVを用いることによる危険な情報の可視

化について紹介しています。

防災関連インフラ施工事例は、アスファルトマットを用いた防波堤の水平耐力強化事例や雨水貯留のための白子川調整池シールド工事の施工事例を紹介しました。

防災要素技術では、ポリウレアをRC構造物に塗布することで衝撃力に対する抵抗性を高めた開発事例や曲がり削孔機を用いることで、滑走路に穴をあけずに液状化対策を行う浸透固化処理工法について取りあげました。

また、土石流対策としての鋼製透過型砂防堰堤の紹介や都市型水害対策としての保水・透水型舗装工法について紹介しています。

我が国は、地震や水害をはじめ自然災害が非常に多く発生する国であります。そのため、自然災害から国民の生命や財産を守るために、今後ますます防災・減災技術の向上が求められています。

今回は、その最新技術を掲載しており、読者の皆様にこの報文がご参考になれば幸いです。

最後になりましたが、ご多忙の中、快く執筆を引き受けていただいた執筆者の方々、また仲介の労をとっていただいた方々に深く感謝するとともに、厚く御礼申し上げます。  
(藤内・川西)

## 機関誌編集委員会

### 編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
塚原 重美	中岡 智信
中島 英輔	橋元 和男
本田 宜史	渡邊 和夫

### 編集委員長

田中 康順 鹿島道路(株)

### 編集委員

吉田 潔	国土交通省
三浦 弘喜	農林水産省
伊藤 健一	(独)鉄道・運輸機構
篠原 望	鹿島建設(株)
立石 洋二	大成建設(株)
藤内 隆	清水建設(株)
赤井 亮太	(株)大林組
久保 隆道	(株)竹中工務店
安川 良博	(株)熊谷組
川西 健之	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
岡田 英明	五洋建設(株)
齋藤 琢	東亜建設工業(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
相田 尚	(株)NIPPO
岡本 直樹	山崎建設(株)
太田 順子	コマツ
大塚 清伸	キャタピラー・ジャパン(株)
小倉 弘	日立建機(株)
上田 哲司	コベルコ建機(株)
石倉 武久	住友建機(株)
和田 一知	(株)KCM
江本 平	範多機械(株)
竹本 憲充	施工技術総合研究所

### 事務局

日本建設機械施工協会

### 10月号「地球温暖化対策、環境対策・環境対策工特集」予告

- ・環境省 オフロード法 2014 年規制
- ・建設リサイクル推進施策検討小委員会「建設リサイクル推進に係る方策」のとりまとめ
- ・再生可能エネルギーの現状と、電力のベストミックス想定
- ・既設ダムを活用した維持流量発電プロジェクト
- ・再生可能エネルギー最大の分力ソーラーパワーの急速施工
- ・高効率型の地中熱利用システム 一分岐管方式の地中熱交換器
- ・飯田橋駅西口再開発事業<カーボンゼロ・プロジェクト>
- ・林業機械を対象としたカーボン・オフセットプログラム
- ・2014 年日米欧の次期排出ガス規制に対応した最新エンジン
- ・ピース構造新型油圧ブレーカ 高出力・高耐久・低騒音を実現した Fxj シリーズ
- ・工事濁水の高度化処理技術 回転フィルター過方式「AQUA-FILTER SYSTEM」の紹介
- ・層状複水酸化物を用いたシールド濁水処理技術の実績
- ・都市土木現場における防振対策

## 建設機械施工

第 66 巻第 9 号 (2014 年 9 月号) (通巻 775 号)

Vol. 66 No. 9 September 2014

2014 (平成 26) 年 9 月 20 日印刷

2014 (平成 26) 年 9 月 25 日発行 (毎月 1 回 25 日発行)

編集兼発行人 辻 靖 三


印刷所 日本印刷株式会社

## 発行所 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	〒980-0802 仙台市青葉区二丁目 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-17-10	電話 (052) 962-2394
関西支	〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-4-30	電話 (092) 436-3322

本誌上への広告は  有限会社 サンタナ アートワークス までお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-21-5 井手口ビル 4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138

E-mail: san-mich@zam.att.ne.jp 担当: 田中